



ミャンマー

家庭訪問調査レポート①

- 調査実施日 : 2015年 8月2日
- 調査場所 : ヤンゴン管区 北オッカラツパ地区 シュエパウカン15区 ナワラット通り
(シュエパウカンは北オッカラツパ地区内にあるサテライト・タウンで、ヤンゴンの
ダウンタウンから北15マイルに位置する。)
- 調査対象 : マウンマウン(仮名)さんの一家
- 為替レート : 1円 ≒ 10.228 ミャンマー チャット(2015年8月 平均値)



マウンマウンさんの一家



家族構成	マウンマウン(仮名)さん(53歳) 妻(48歳) 長女(17歳:11年生) 次女(10歳:6年生)
世帯収入	260,000 チャット/月
職業	マウンマウンさん: 仲介業(不動産や消費財など) 妻: 衣料品工場の従業員
勤務日数	妻: 週5日(祝祭日と週末は休日)

マウンマウンさん(53歳)

職業: 仲介業(不動産や消費財など)

不動産や消費財など仲介業者として外回りをしている。自宅から15マイルほど離れたヤンゴンのダウンタウンや、近郊地域まで足を伸ばす。地区内では自転車を使い、ヤンゴンのダウンタウンへはバスで移動する。とはいえ、ヤンゴンのダウンタウンまで出かけたのは過去2年間で4回程度だった。

自由時間がある時は時々、14区にある市場に買い物に行く妻に同行する。

居住区の地域発展委員を務めている。

家畜を飼いたいが、現時点では自宅の敷地スペースが限られているため、飼うことができない。

余暇には家庭菜園を楽しんだり、家の修繕や敷地内の手入れをする他、読書やテレビを見たりしている。

家電が好きで、電気釜、冷蔵庫、扇風機、グリルパン等々は全て貯金で購入した。今、欲しい物はフラットテレビとインバーターと変圧器。



妻(48歳)

職業: 衣料品工場の従業員

この20年間、民間の衣料品工場で働いており、いろいろな部署を経験し、現在は受付および案内係をしている。副業として、職場の同僚たちに即席麺やコーヒー、砂糖、粉ミルクの入った3in1タイプのインスタント・コーヒーや紅茶を売っている。通勤にはバスを利用し、約15分かかる。

14区にある市場のザミンズウエ市場に買い物に行く。副業の仕入れのために、スーパーマーケットやショッピングセンターに行くこともある。

家族全員のための掃除、料理、洗濯など家事は、休日の土・日曜日に行っている。

時間がある時は、2人の娘達の勉強を手伝う。

現在、自動車を購入したいと考えている。好みの車種はトヨタ・アルファード。

服、鏡台、ダイヤのイヤリングが欲しい。



マウンマウンさん一家の紹介

4人家族のマウンマウンさん一家は、一 가족4.4人というミャンマーの平均に照らせば、中規模世帯と位置づけられる。

● マウンマウンさん:

夫のマウンマウンさん(53歳)はかつて、アシスタント・スーパーバイザーとして農業灌漑省に勤める公務員であった。当時はインフレも高くなく、公務員生活もさほど窮屈ではなかった。以来、彼は貯蓄の習慣を身につけ、常に家や家族の生活向上を考えてきた。しかし、物価が徐々に上がり、下級公務員の給与ではやっていけなくなった時、退職を決意。その後、各2年間ずつ、日用雑貨を扱う企業2社に続けて勤務した。現在は、不動産や消費財などの仲介業者として外回りの仕事をしている。公務員時代のような束縛された生活からは解放されたが、働く場所は一定していない。

その一方で、居住区の地域活動を努める地域発展委員会(Community Development Committee)の一員として、同じ居住区の住民の福祉に貢献している。

家畜の世話に強い関心を持っているが、現時点では、自宅の敷地スペースが限られているため、飼う機会がない。

余暇には、家庭菜園で土をこねたり草むしりをする他、家の修繕や敷地内の手入れをしたりしている。



家の壊れた箇所を修繕



家の修繕に使用するSCGブランド(タイ製)のセメント



仲介業者として働くマウンマウンさん。この自転車で市内を移動する。

● 妻:

妻(48歳)は、この20年間、民間の衣料品工場で働いている。そのうち10年間は倉庫係、5年間は管理スタッフ、2年間は経理スタッフ、そして3年間は受付および案内係であった。視力が低いことから、受付に異動させられた。夫と同様に働き者で、副業として、即席麺やコーヒー、砂糖、粉ミルクの入った3in1タイプのインスタント・コーヒーや紅茶を職場の同僚たちに売り、利益を得ている。スーパーマーケットの“Junction 8”やショッピングセンターの“Ocean North Point Shopping Centers”にて、糖尿病患者によいとされているバスマティ米やスパイス類、果物ならびに日用品等を仕入れ、上司や中国人技術者をはじめとする工場の同僚に再販している。彼女は工場のワーカーではあるが高等教育を受けており、物理学の学士号を持っている。

● 長女:



長女(17歳)は11年生(高校の最終学年)で、私立校の進学クラスで学んでいる。11年生の進級試験に合格すれば、大学に入学することになる。ミャンマーの大学制度は、入試の成績によって入学できる大学と学部が決まる。例えば、医大は最も点数の高い学生を受け入れ、これに続くのが工科大、コンピューター大学等である。

通学には、2台の自転車のうちの1台を通学用に使用している。入試合格が彼女の悲願であり、大学卒業後はデザイナーになるのが目標である。今必要としているのは、デザイン作成用のパソコンである。

週末は勉強の復習が日課。母親の家事の手伝いもするが、そうでなければテレビを見たりしている。週に一度、ミシンがけを習いに、自宅からさほど遠くない14区にある祖母の家を訪ねたりしている。

● 次女:



父親の携帯端末でゲームに興じる。

次女(10歳)は長女と7歳の年齢差があり、私立校KSY Private Schoolの6年生で、ミャンマーの基礎教育制度における中学校レベルの2年目にあたる。KSY Private Schoolの教員は経験豊富で規律も行き届いており、これが、両親が彼女の同校への入学を決めた理由である。

彼女は自由時間のほとんどを学習にあてているが、時には母親の手伝いをする。他にはテレビを見たり、携帯端末でゲームを楽しんだりしている。人形遊びが好きといった子供らしい一面もある。欲しいものを訊ねると、もっと人形が欲しいとのことであった。

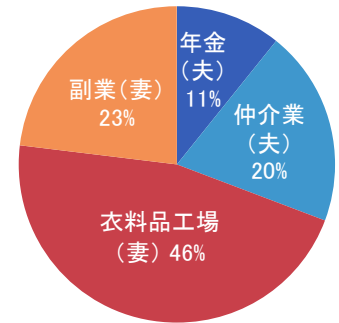
JETRO

家計収支

月間世帯収入

	職業	月収(チャット)
マウンマウンさん	年金	28,000
	仲介業の収入	52,000
妻	衣料品工場の給料	120,000
	副業(職場での日用品販売)による収入	60,000
月間収入合計:		260,000

月間世帯収入の内訳



月合計で26万チャットという世帯収入は、生活をなんとか営むことができるというレベルである。現地民間調査会社の社会階層分類の5段階分類 —1:「とても裕福」、2:「裕福」、3:「ふつう」、4:「貧乏」、5:「とても貧乏」—において、この家族は収支均衡世帯である「レベル4(月収約250ドル～500ドル未満)」に属する。

定期収入では小額で不十分なため、夫婦ともに勤勉さを利して副収入を得ることを強いられている。

支出内訳

低所得層ではあるが貯蓄と儉約の習慣があり、それが家計を救い、家電製品の購入等快適な生活の実現につながっている。

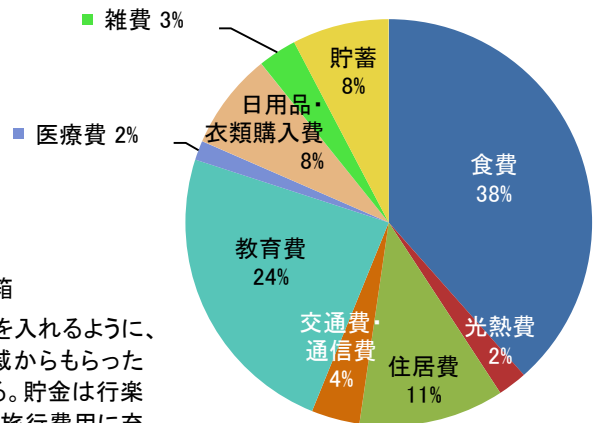
支出項目	支出金額(チャット)
食費	100,000
光熱費	6,000
住居費(修繕費)	30,000
交通費・通信費	10,000
教育費*	62,000
医療費	4,000
日用品・衣類購入費	20,000
雑費	8,000
貯蓄(繰り越し分)	20,000
月間支出合計:	260,000



(上写真)家族の貯金箱

両親が節約したお金を入れるように、2人の子供たちも親戚からもらった小遣いを貯金している。貯金は行楽や寺院参拜のための旅行費用に充てている。

月間支出の内訳



*教育費(ミャンマーの学校教育制度について)

現在のミャンマー学校教育制度は、基礎教育と高等教育からなっている。基礎教育機関には、小学校:5年間、中学校:4年間、高等学校:2年間および各種職業学校がある。高等教育機関には、短期大学、大学がある。

(外務省「諸外国地域の学校情報 国地域名:ミャンマー」より http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/world_school/01asia/infoC11800.html)



次女の通学スタイル

長女が在籍している11年生は、基礎教育の最終学年であり、進級試験の合格が大学入試に相当する。



次女が通う私立学校の外観

基礎教育制度	学年	備考
小学校	1～5年生	
中学校	6～9年生	←次女:6年生
高等学校	10～11年生	←長女:11年生

学費:月謝(チャット)

長女	20,000
次女	42,000



住居

家族は、2003年に60万チャットで土地を購入。その後、竹の箆で家を立て、その家を他の家族に6年間貸していた。その後、2009年に自分たちが家に移り住み、レンガ造りに改築した。家の市場価格は、土地の価格を除いて400万チャットである。家は32×40フィートのレンガ造り、トタン葺きの平屋で、床は大理石のスラブ敷きである。部屋はレンガ壁で仕切られている。公共の電力が通っており、水は井戸からポンプで汲み上げている。

家の間取りと敷地

家の中央部には居間が配され、その他の部屋がそれを取り囲むといった間取りである。居間の奥には仏壇が備えられている。子供たちと両親は隣り合わせの別々の部屋で寝る。トイレは2つある。



玄関隣のスペース



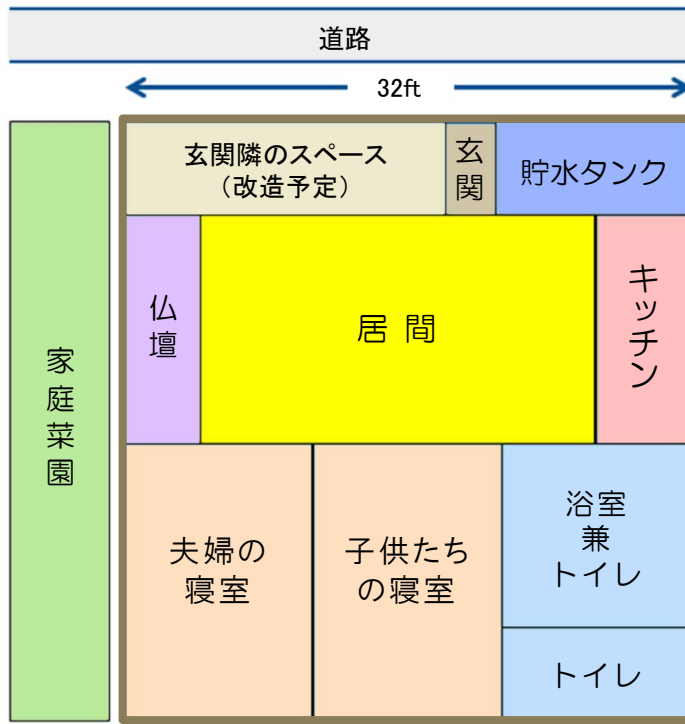
家の正面玄関



生活用水の貯水タンク



家の前の道路



キッチン



仏壇



浴室兼トイレ



家庭菜園



居間



トイレ

所有家財・家電製品等

品目	ブランド名	購入価格(チャット)	使用年数
テレビ	Changhong	80,000	6
ラジオ	No brand(中国製)	プレゼント	1
携帯電話1(スマートフォン)	Huawei G 730(中国製)	140,000	2
携帯電話2	Nokia	プレゼント	0.25
冷蔵庫(2ドア型)	SHARP	200,000	3
電気炊飯器	Matsushita	22,000	5
電気グリルパン	Matsushita	22,000	5
電気ポット	Matsushita	22,000	5
扇風機	Media	7,500	7
自転車1(父用)	ブリヂストン(日本製)	20,000	18
自転車2(娘用)	No brand(中国製)	80,000	3
ポンプ	—	—	—



冷蔵庫(2ドア型)



テレビ



ラジオ



携帯電話



電気炊飯器



電気グリルパン



電気ポット



扇風機



自転車



ポンプ



交通事情と移動手段

自宅からヤンゴンのダウンタウンへは、通勤者向けにバスが運行されている。地区内の主な公共交通は、バスやオート三輪車。地区内の移動手段としてはバイクや自転車が便利である。ミャンマーでは、①自動車ほど高価ではないこと ②山道や狭い道、水田の畦道など、自動車では入りづらい場所に行くのに便利 という2つの理由から、バイク(中国製)が増加している。ただしバイクは、ヤンゴン市内での走行が禁止されているため、郊外のみ利用となっている。



食事

日常の買い物について

ミャンマーでは、農産物と家畜を売る市場（一般的に「ゼー」と呼ばれる伝統市場）があり、人々は食品や家庭用品等を買求めに市場へ行く。スーパーマーケットでは買えない物もあることから、今日でも市場はかけがえのない存在である。

一方、個人商店はコンビニの出現に伴い様相に変化が生じている。ゼーなどの伝統市場では国内生産品が圧倒的であるのに対し、スーパーマーケットの棚に並ぶ商品は輸入品が多い。



「ゼー」と呼ばれる伝統市場

■ マウンマウン家の食材の購入:

米、肉そして野菜といった主な食材は、家の近所の14区にある市場のザミンズウェ市場で購入し、調味料、食用油、コーヒー、即席麺は月に1度スーパーマーケットで購入する。家の敷地内には家庭菜園があり、ローゼル等の野菜とともにタマリンドの樹も育てている。タマリンドの若葉は、摘んでサラダにする。

ミャンマーの食事情（概要）

ミャンマーの人々は朝食、昼食、夕食と1日3回の食事をする。朝食の内容はモヒンガー（米粉の麺の入った魚のスープ）、インドや中国のスナック、バター付きパン、コーヒーもしくは紅茶である。しかし、田舎に暮らす多くの人々はこれらの朝食用の食品を買うことができず、通常、炒飯や高グルテンの米でできたミャンマーの伝統的スナックをお茶とともに食す。現在では、既製の3in1タイプのインスタント・コーヒーや紅茶がどこでも手に入れることができる。典型的な昼食と夕食は、肉もしくは魚の料理ならびに酸味あるいは甘いスープである。サイド・メニューに空芯菜、キャベツもしくはカリフラワーといった野菜炒めがつくこともある。ミャンマーの食卓には、魚醤が必需品である。前菜として、キュウリやキャベツ等の生野菜や野菜のピクルスに魚醤をつけて食べるのが一般的。

■ マウンマウン家の料理:

通常、電気炊飯器で米を炊き、電気グリルパンで肉もしくは魚料理を作る。主な料理用の熱源は電気で、停電の際には木炭コンロを使うこともある。

よく作る料理は、肉または魚のカレー、空芯菜の炒め物、そしてローゼルのスープ。通常、食べ物は戸棚に保管するが、メッシュのカバーをかけてテーブルの上に置いておくこともある。冷蔵庫は生野菜、生肉および飲み物の保管にのみ使用する。

彼らは通常、台所にある丸テーブルで食事をするが、時にはテレビの前で食べることもある。外食はしない。

夫は通常、朝昼晩の食事を家でとる。妻は、平日は朝食と夕食を家でとり、昼食は職場に弁当を持参する。休日は3食とも全て家でとる。子供たちも朝食と夕食は家でとり、昼食は学校に弁当を持って行く。

1日当たりの食費は3,000~3,500チャットで、1回の食事の品数は3~4品である。



電気グリルパンで調理された肉料理。



昼食の配膳の様子
この日のメニューは、ご飯、肉料理と副菜（野菜料理）、スープならびに魚醤。



昼食をとるマウンマウンさん一家



食べ物はプラスチック製のメッシュカバーで覆っておく。（主に虫除け対策）

主な食材の価格

品目	価格(チャット)	数量単位
米	1,200	1pyi*1
鶏肉	700	10ticals*2(約150g)
豚肉	800	10ticals(約150g)
牛肉	800	10ticals(約150g)
空芯菜	1,100	1束

*1:「pyi」は分量の計測単位。
16 pyi's = 1バスケット
1バスケットの米は32kgに相当。

*2:「tical」は重量の計測単位。
1tical = 約15.16g 100ticals = 1viss
1vissは約1.65kg(3.6ポンド)に相当。



大容量の家庭用飲料水

飲料水:

農村部に住む人々の多くは運河や河川、池ならびに井戸から汲み上げた水を飲用としている。一方、都市部の人々は飲料水を購入している。小さいものは300ml入りのボトルから、大きいものは20L入りのものまで、数種類のブランドで、様々なサイズのもので製造されている。特に20L容器入りのものは家庭用で、平均価格は500チャットである。



生活時間・習慣

宗教

ミャンマーの家庭の多くは、仏教徒である。マウンマウン家にも客間の奥に仏壇がある。ガラス製の棚があり、そこに仏像が安置されている。仏の教えに関する出版物、数珠、ろうそく、線香といった仏具は下段の戸棚に保管される。

棚の手前のスペースには花、線香、灯明、水が仏像に供えられる。仏教徒は花と水を定期的に(水は毎日、花はしおれる前に)取り替える。毎晩、家族全員が祈りを捧げ、父母は数珠をつまぐり、時間のある限り黙想している。



向かって右側が仏壇

旅行

ミャンマーの人々は旅行好きであるが、それができるのは中所得世帯および高所得世帯に限られる。彼らは機会さえあれば、寺院参りの旅行などをやる。通常、近所の人と、または親戚の人たちと団体旅行を手配する。その方が個人旅行より安上がりのためである。この場合、通常バスをレンタルして、レンタル料は皆で負担する。自家用車で個人旅行ができるのは裕福な家族だけである。ミャンマーには国内全土に渡り多数の仏塔があり、人々は寺院巡りを好む。

■マウンマウン一家の家族旅行:

マウンマウンさん一家は、今まで3回ほど旅行に出かけたことがある。

初回は自費による旅行で、2013年の水かけ祭(4月中旬)の期間中にシャン州にあるインレー湖とタウンジーに行った。妻と2人の娘のために25万チャットを捻出し、マウンマウンさんは旅行に参加しなかった。

2回目は妻の勤務先の衣料品工場が手配した旅行で、2014年5月にモン州のチャイトー郡にあるチャイティーヨパゴダへの参拝旅行に参加。

3回目は妻の友人たちが費用を負担した旅行で、2015年の1月にエラワジ管区のザルン仏像の拝観に行った。



1日の行動スケジュール

時間	マウンマウンさん		妻			
	平日	休日	平日	休日		
05:00 ~	↓	↓	↓	↓		
06:00 ~	起床	↓	起床	↓		
07:00 ~	次女を学校まで送る	起床	市場で買物	起床		
08:30 ~	妻をバス停まで見送り	妻と市場へ買物に出かける	工場に出勤	夫と市場へ買物に出かける		
09:00 ~	家事(家の修繕、掃除、ガーデニング)		妻の昼食準備の手伝い		仕事	
10:00 ~		昼食準備 台所掃除、洗濯				
11:00 ~			昼食	昼食		
12:00 ~	子供たちと過ごす 家事(修繕、掃除、ガーデニング)	仕事			子供の学習や宿題の指導	
13:00 ~			昼食	仕事		
14:00 ~						昼寝 または、地域活動(道路舗装等)に参加
15:00 ~						
16:00 ~	娘を学校に出迎え	妻の夕食準備の手伝い	退勤(帰宅のバスに乗車)	夕食準備		
17:00 ~	妻をバス停に出迎え					
18:00 ~	夕食準備	夕食、テレビ視聴	夕食準備、洗濯	夕食、テレビ視聴		
19:00 ~	夕食、テレビ視聴					
20:00 ~		夕食、テレビ視聴	夕食、テレビ視聴	夕食、テレビ視聴		
21:00 ~						
22:00 ~	就寝	就寝	就寝	就寝		
23:00 ~	↓	↓	↓	↓		
24:00 ~	↓	↓	↓	↓		

■ 4人家族のマウンマウンさん一家は月26万チャットの収入に対し支出は24万チャットで、手元に残るのはわずか2万チャットに過ぎない低所得層の世帯。それでも、電化製品を購入し、家で娯楽を享受しているのは貯蓄のおかげである。

この収入だけでは世帯の出費を賄い切れないため、副収入を得るべく精力的に働いている。食べ物は質素で、出費を切り詰め、不要な支出はしない。娘たちにはわずかではあるが、毎日の小遣いとして300チャットを与えている。お金の使い方についての規律は厳しく、この家族は他の低所得家庭が見習うべき模範的一家と言える。



食事後の食器洗いをする妻

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。